

グループワーク研修会（中級編）前期

～子ども関連施設におけるグループワークの実際～

厚生労働省から発出された「改正 児童館ガイドライン」には、児童館の特性について新たに記載され、遊び及び生活を通じた健全育成、子どもの心身の健康増進を図り、知的、社会的適応能力を高め、情緒を豊かにするという役割が明記されています。第1に児童館は地域における子どものための拠点であること、子どもたちが自らの意思で利用でき、自由に遊んだりくつろいだりする中で、異年齢交流が出来る。そして、それを支える「児童の遊びを指導する者」（児童厚生員）が居ることで、地域の拠点になるとも書かれています。この内容からも、「遊び」がキーワードであり、子どもの発達においてその重要性が再認識されたと言えます。

今回の研修内容は、伝承遊びを用いてグループワークに行い、理論だけでなく具体例としてロールプレイを取り入れ体験することで、現場で即戦力として使える力を身につけてもらえよう企画しています。

【講師】 聖徳大学児童学部児童学科准教授 神谷 明宏 氏

【日時】 令和元年6月14日（金） 10：00～12：00、13：00～17：00

【対象】 児童会館、放課後児童クラブなどに働く職員 40名

【プログラム】

- ① 正しい伝承あそびを知ろう
- ② ロールプレイ【伝承あそびを用いたグループワーク】議論と記録とまとめ

【受講料】 4,000円（振込）昼食は星園「カレーの日」で400円（飲み物付）提供

【持ち物】 筆記用具、動きやすい服装、タオル、飲み物、遊び道具

【場 所】 市民活動プラザ星園 （札幌市中央区南8条西2丁目）



《講師の紹介》

聖徳大学児童学部児童学科准教授

専門はグループワーク、野外活動、児童文化。

大学卒業後、日本初の民間児童館である伊藤忠記念財団「東京小中学生センター」

専門スタッフとして7年間、「こどもの城」のプレイ事業部長として12年間、児童厚生員やボランティア育成活動にあたる。1999年より現職。

こども環境学会副会長、玩具福祉学会副理事長、日本環境協会こどもエコクラブ

アドヴァイサリーボード委員、東京YWCA青少年育成事業部会委員、松戸市社会教育委員、松戸市子ども子育て委員会委員

著書 「できる！たのしむ！むかしのあそび」全6巻 監修

【問い合わせ・申し込み先】

非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター「そだちの杜」 寺田・岩田

(札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園 ☎ 080-9614-7502)

【申込書】 FAX 011-511-1316 E-mail y.terada@cmtwork.net

氏 名	職場名	職歴年数	研修への要望

